

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。
「パインブリッジ金融ハイブリッド証券ファンド2015-11
(為替ヘッジあり) / (為替ヘッジなし)」は信託約款に
基づき、2019年11月15日をもって償還を迎え
ました。当ファンドは主として日本の金融機関が発行する
ハイブリッド証券(劣後債、優先証券)を実質的な主要投資
対象とし、安定的な収益の確保を図りつつ、中長期的に
信託財産の着実な成長を目指しました。また、(為替
ヘッジあり)は、実質組入れの外貨建て資産について原則
として為替のフルヘッジを行いました。(為替ヘッジ
なし)は、原則として為替ヘッジを行いませんでした。
当作成対象期間もこれに沿った運用を行いました。ここに、
運用状況および償還内容をご報告申し上げます。
長い間ご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。

当作成期の状況

<為替ヘッジあり>

償還価額 (当作成期末)	10,247円58銭
純資産総額 (当作成期末)	412百万円
騰落率 (当作成期)	△0.2%
分配金合計 (当作成期)	0円

<為替ヘッジなし>

償還価額 (当作成期末)	9,709円86銭
純資産総額 (当作成期末)	159百万円
騰落率 (当作成期)	1.4%
分配金合計 (当作成期)	0円

(注) 騰落率は収益分配金(税込み)を再投資したものとみなして計算して
います。

当ファンドは、信託約款において運用報告書(全体版)
に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨
を定めております。右記<お問い合わせ先>ホーム
ページの「ファンド一覧」の「償還ファンド一覧」
から当ファンドのファンド名称を選択することにより、
当ファンドのページにおいて運用報告書(全体版)
を閲覧およびダウンロードすることができます。
運用報告書(全体版)は、受益者のご請求により交付
されます。運用報告書(全体版)をご請求される方は、
販売会社までお問い合わせください。

交付運用報告書 満期償還

パインブリッジ金融 ハイブリッド証券 ファンド2015-11 (為替ヘッジあり)/(為替ヘッジなし) <愛称:小春日和(為替ヘッジあり)/(為替ヘッジなし)>

単位型投信/内外/その他資産
(ハイブリッド証券)

第9作成期
(2019年9月11日~2019年11月15日)
第16期(償還日:2019年11月15日)



パインブリッジ・インベストメンツ株式会社
〒100-6813 東京都千代田区大手町一丁目3番1号 J Aビル

お問い合わせ先・・・投資信託担当

電話番号/03-5208-5858

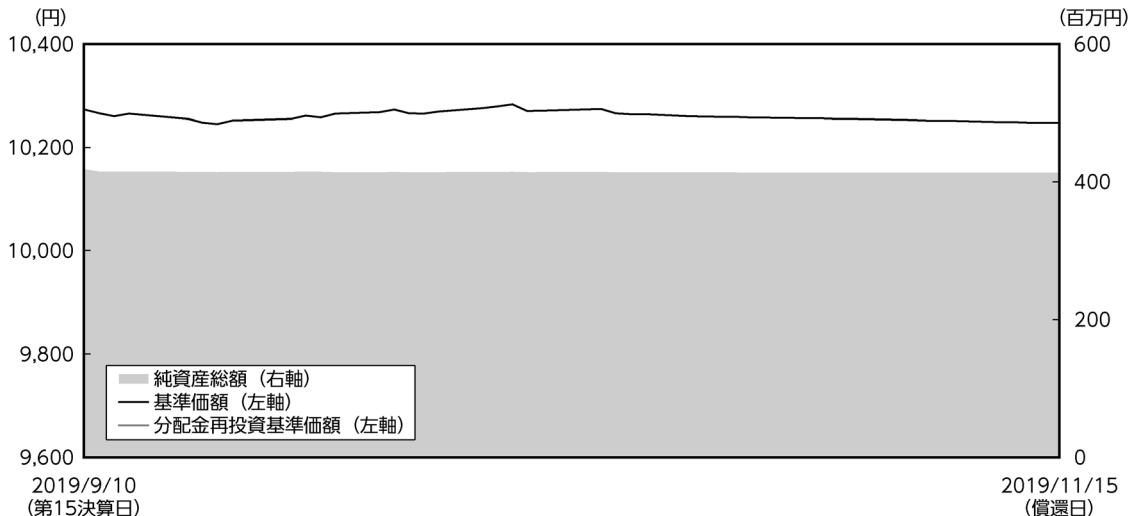
(受付時間/9:00~17:00(土、日、祝休日を除く))

ホームページ/<https://www.pinebridge.co.jp/>

運用経過 (2019年9月11日～2019年11月15日)

基準価額等の推移

<為替ヘッジあり>



第16期首：10,273円

償還日：10,247円58銭

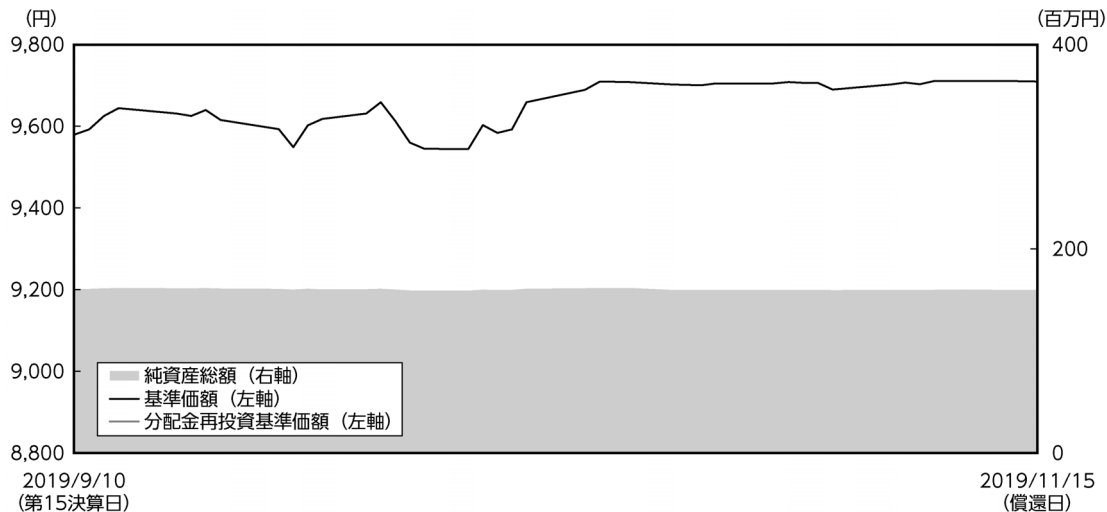
(作成対象期間中の既払分配金：0円)

騰落率：△0.2% (分配金再投資ベース)

※分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。なお、当ファンドは既払分配金がありませんので、分配金再投資基準価額と基準価額は同一です。

※当ファンドは単位型投信ですので実際には分配金を再投資することはできません。また、課税条件等を考慮しておりませんので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

<為替ヘッジなし>



第16期首: 9,580円

償還日: 9,709円86銭

(作成対象期間中の既払分配金: 0円)

騰落率: 1.4% (分配金再投資ベース)

※分配金再投資基準価額は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。なお、当ファンドは既払分配金がありませんので、分配金再投資基準価額と基準価額は同一です。

※当ファンドは単位型投信ですので実際には分配金を再投資することはできません。また、課税条件等を考慮しておりませんので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

基準価額の主な変動要因

<為替ヘッジあり>

当ファンドの投資対象である「パインブリッジ金融ハイブリッド証券マザーファンド」保有のハイブリッド証券のインカム収入を得られたことがプラス要因となった一方で、保有ハイブリッド証券の価格が下落したことがマイナス要因となり、基準価額は小幅ながら下落しました。

<為替ヘッジなし>

当ファンドの投資対象である「パインブリッジ金融ハイブリッド証券マザーファンド」保有のハイブリッド証券の価格が下落したことはマイナス要因となったものの、保有ハイブリッド証券のインカム収入を得られたことや為替市場で円安米国ドル高となったことが主なプラス要因となり、基準価額は上昇しました。

<パインブリッジ金融ハイブリッド証券マザーファンド>

当ファンド保有のハイブリッド証券の価格が下落したことはマイナス要因となったものの、保有ハイブリッド証券のインカム収入を得られたことや為替市場で円安米国ドル高となったことが主なプラス要因となり、基準価額は上昇しました。

1万口当たりの費用明細

<為替ヘッジあり>

項 目	第16期 (2019.9.11~2019.11.15)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信託報酬	23円	0.224%	信託報酬=期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は10,261円です。
(投信会社)	(11)	(0.109)	委託した資金の運用、交付運用報告書等の作成、ファンドの監査等の対価
(販売会社)	(11)	(0.109)	交付運用報告書各種資料の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(1)	(0.006)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
売買委託手数料	0	0.004	売買委託手数料=期中の売買委託手数料/期中の平均受益権口数
(ハイブリッド証券)	(0)	(0.004)	売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	0	0.000	有価証券取引税=期中の有価証券取引税/期中の平均受益権口数
(ハイブリッド証券)	(0)	(0.000)	有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
その他費用	0	0.002	その他費用=期中のその他費用/期中の平均受益権口数
(保管費用)	(0)	(0.002)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転に要する費用
合 計	23円	0.230%	

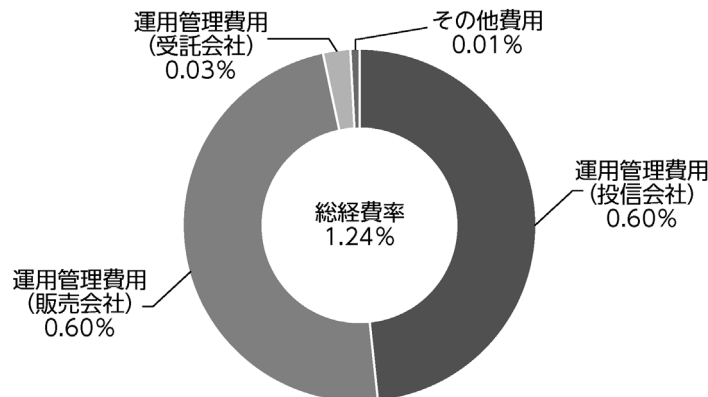
※期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。また、各項目ごとに円未満は四捨五入しています。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

※比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

※消費税は報告日の税率を採用しています。

<参考情報> 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除きます。)を作成期中の平均受益権口数に作成期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した総経費率(年率)は1.24%です。



※費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

※各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

※各比率は、年率換算した値です。

※上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

1万口当たりの費用明細

<為替ヘッジなし>

項 目	第16期 (2019.9.11~2019.11.15)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信託報酬	22円	0.224%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は9,668円です。
(投信会社)	(11)	(0.109)	委託した資金の運用、交付運用報告書等の作成、ファンドの監査等の対価
(販売会社)	(11)	(0.109)	交付運用報告書各種資料の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(1)	(0.006)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
売買委託手数料	0	0.004	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数
(ハイブリッド証券)	(0)	(0.004)	売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	0	0.000	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数
(ハイブリッド証券)	(0)	(0.000)	有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
その他費用	0	0.002	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(保管費用)	(0)	(0.002)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転に要する費用
合 計	22円	0.230%	

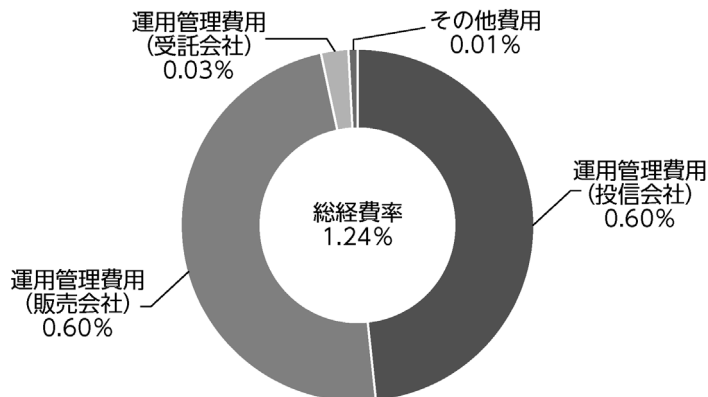
※期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。また、各項目ごとに円未満は四捨五入しています。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

※比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

※消費税は報告日の税率を採用しています。

<参考情報> 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除きます。）を作成期中の平均受益権口数に作成期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.24%です。



※費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

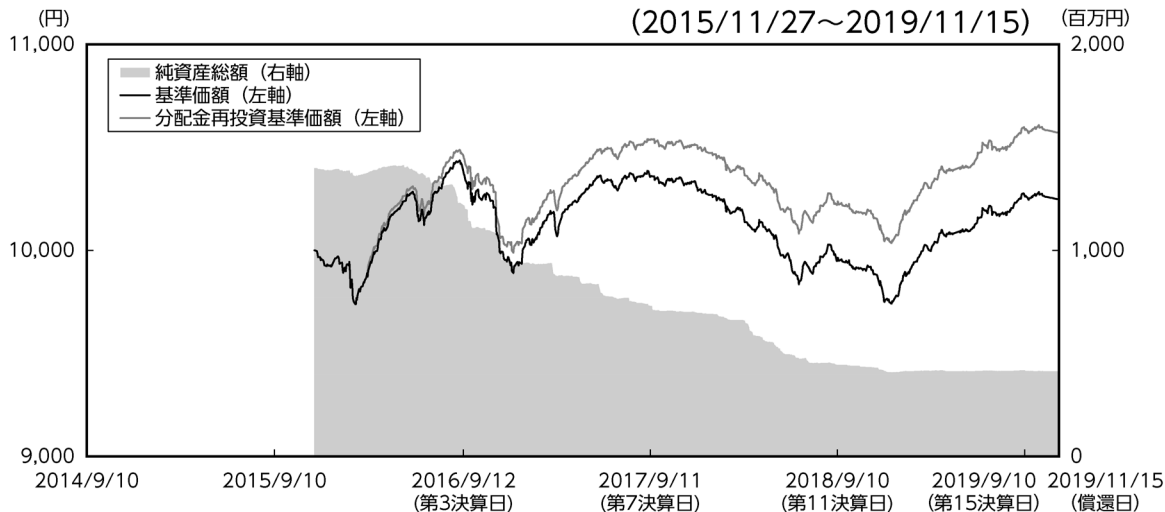
※各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

※各比率は、年率換算した値です。

※上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移

<為替ヘッジあり>



※分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※当ファンドは単位型投信ですので実際には分配金を再投資することはできません。また、課税条件等を考慮しておりませんので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

※当ファンドは、適切に比較できる指標がないため、ベンチマーク等はありません。

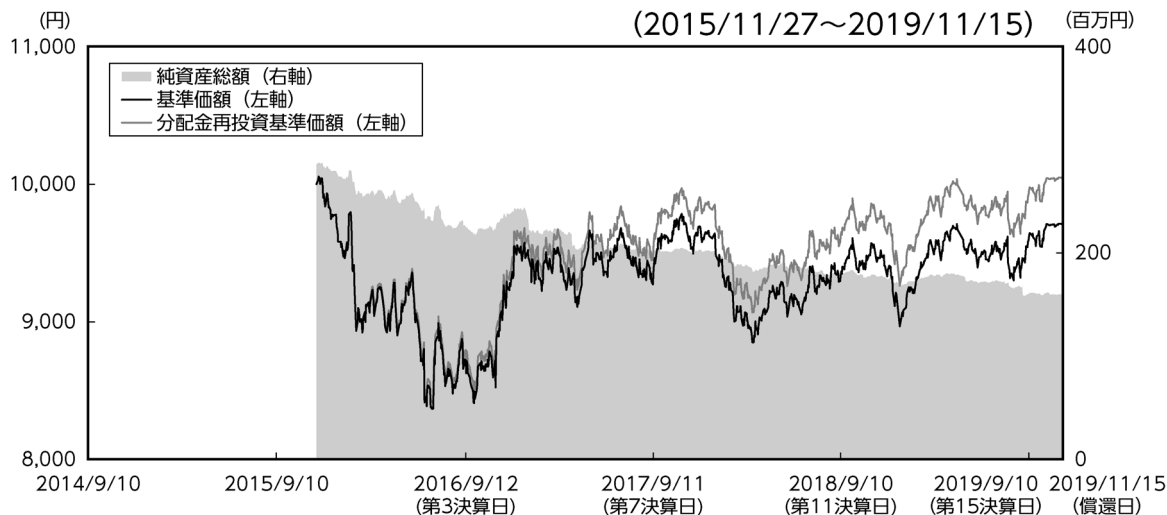
※当ファンドは、設定日から5年間経っていませんので、設定来の推移を表示しています。

		2016/9/12 決算日	2017/9/11 決算日	2018/9/10 決算日	2019/9/10 決算日	2019/11/15 償還日
基準価額 (円)		10,385	10,356	9,947	10,273	10,247.58
期間分配金合計(税込み) (円)		75	100	100	40	0
分配金再投資基準価額の騰落率 (%)		4.6	0.7	△3.0	3.7	△0.2
純資産総額 (百万円)		1,218	730	443	418	412

※2016/9/12決算日の騰落率は、設定日との比較を表示しています。

※2019/11/15償還日の騰落率は、2019/9/10との比較を表示しています。

<為替ヘッジなし>



※分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※当ファンドは単位型投信ですので実際には分配金を再投資することはできません。また、課税条件等を考慮しておりませんので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

※当ファンドは、適切に比較できる指標がないため、ベンチマーク等はありません。

※当ファンドは、設定日から5年間経っていませんので、設定来の推移を表示しています。

		2016/9/12 決算日	2017/9/11 決算日	2018/9/10 決算日	2019/9/10 決算日	2019/11/15 償還日
基準価額 (円)		8,721	9,271	9,297	9,580	9,709.86
期間分配金合計(税込み) (円)		75	100	100	40	0
分配金再投資基準価額の騰落率 (%)		△12.1	7.4	1.4	3.5	1.4
純資産総額 (百万円)		225	199	178	160	159

※2016/9/12決算日の騰落率は、設定日との比較を表示しています。

※2019/11/15償還日の騰落率は、2019/9/10との比較を表示しています。

投資環境について

<ハイブリッド証券市場>

当作成期のハイブリッド証券市場は、前作成期末比でほぼ横ばいとなりました。米中貿易交渉の進展期待を背景に市場のリスク選好の動きが強まり信用スプレッド（国債への上乗せ金利）が縮小したことが好感された一方で、米国の長期金利が上昇したことが嫌気されました。

<為替市場>

為替市場では、円は米国ドルに対して下落しました。米中貿易交渉の進展期待に伴う市場のリスク選好の動きや、米国の長期金利上昇に伴う日米金利差の拡大などを背景に円安米国ドル高が進行しました。

ポートフォリオについて

<為替ヘッジあり>

当ファンドの運用方針に基づき運用を行いました。2019年11月15日の当ファンドの償還に向けてポートフォリオの現金化を図りました。

<為替ヘッジなし>

当ファンドの運用方針に基づき運用を行いました。2019年11月15日の当ファンドの償還に向けてポートフォリオの現金化を図りました。

<パインブリッジ金融ハイブリッド証券マザーファンド>

当ファンドの運用方針に基づき運用を行いました。2019年11月14日の当ファンドの償還に向けてポートフォリオの現金化を図りました。

ベンチマークとの差異について

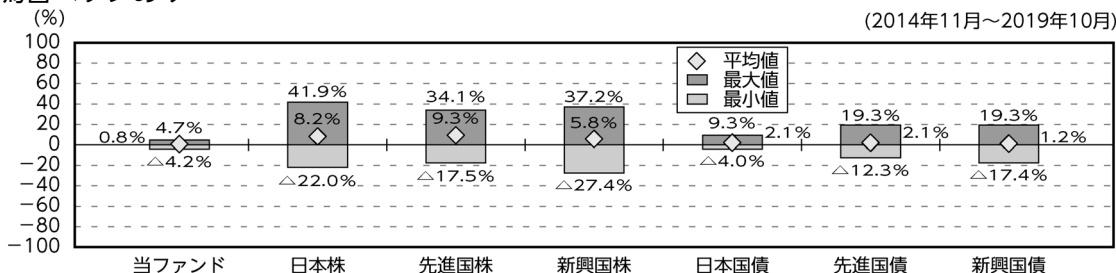
当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。

当ファンドの概要

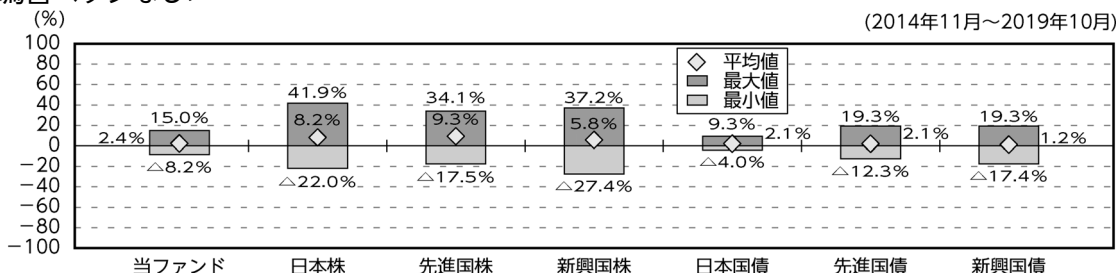
商品分類	単位型投信／内外／その他資産（ハイブリッド証券）	
信託期間	2015年11月27日から2019年11月15日まで	
運用方針	・パインブリッジ金融ハイブリッド証券マザーファンド（以下「マザーファンド」といいます。）の受益証券への投資を通じて、主として日本の金融機関が発行するハイブリッド証券（劣後債、優先証券）に投資し、相対的に高水準かつ安定的な利子・配当等収益（インカム収入）の獲得を図りつつ、中長期的に信託財産の着実な成長を目指します。なお、日本に営業拠点等を持つグローバル大手金融機関が発行するハイブリッド証券にも一部投資を行います。 ・日本の金融機関が発行するハイブリッド証券への実質投資割合は、当初ポートフォリオ構築時において信託財産の純資産総額の50%以上とします。 ・マザーファンドの運用にあたっては、パインブリッジ・インベストメンツ・エルエルシー（PineBridge Investments LLC）に外貨建て資産の運用に関する権限を委託します。 <為替ヘッジあり> ・実質組入れの外貨建て資産については、為替変動リスクを低減するため、原則として為替のフルヘッジを行います。 <為替ヘッジなし> ・実質組入れの外貨建て資産については、原則として為替のヘッジを行いません。	
主要投資対象	為替ヘッジあり	マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	為替ヘッジなし	
	マザーファンド	日本の金融機関が発行するハイブリッド証券を主要投資対象とします。
運用方法	為替ヘッジあり	・株式への実質投資割合には、制限を設けません。 ・外貨建て資産への実質投資割合には、制限を設けません。
	為替ヘッジなし	
	マザーファンド	・株式への投資割合には、制限を設けません。 ・外貨建て資産への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	毎年3、6、9、12月の各10日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、収益分配方針に基づいて分配を行います。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。	

<参考情報>代表的な資産クラスとの騰落率の比較

<為替ヘッジあり>



<為替ヘッジなし>



※すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

※上記グラフは、2014年11月～2019年10月の5年間における1年騰落率の平均・最大・最小を、当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。なお、当ファンドは2015年11月27日設定のため、2016年11月から2019年10月までの平均値・最大値・最小値を表示しています。

※上記の騰落率は直近月末から60ヵ月遡った算出結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。

※当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

●各資産クラスの指数

日本株：東証株価指数 (TOPIX) 配当込み

先進国株：MSCIコクサイ・インデックス (配当込み・円ベース)

新興国株：MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み・円ベース)

日本国債：NOMURA-BPI国債

先進国債：FTSE世界国債インデックス (除く日本、ヘッジなし・円ベース)

新興国債：JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド (ヘッジなし・円ベース)

※海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

東証株価指数 (TOPIX) 配当込みは、株式会社東京証券取引所の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利は、株式会社東京証券取引所が有しています。

MSCIコクサイ・インデックス (配当込み・円ベース) およびMSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み・円ベース) は、MSCI Inc.が開発した指数で、同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

NOMURA-BPI国債は、野村證券株式会社が作成している指数で、同指数に関する知的財産権その他一切の権利は、野村證券株式会社に帰属しています。また、野村證券株式会社は、同指数の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負うものではありません。

FTSE世界国債インデックス (除く日本、ヘッジなし・円ベース) は、FTSE Fixed Income LLCにより算出および公表されている債券指数であり、同指数に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。

JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド (ヘッジなし・円ベース) は、J.P. Morgan Securities LLCが算出・公表する指数で、同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。

ファンドデータ

当ファンドの組入資産の内容（2019年11月15日現在）

<為替ヘッジあり>

償還日現在における有価証券等の組入れはありません。

純資産等

項 目	第16期末
	2019年11月15日
純資産総額	412,872,554円
受益権総口数	402,897,526口
1万口当たり償還価額	10,247円58銭

※当作成期間（第16期）中における解約元本額は4,000,000円です。

<為替ヘッジなし>

償還日現在における有価証券等の組入れはありません。

純資産等

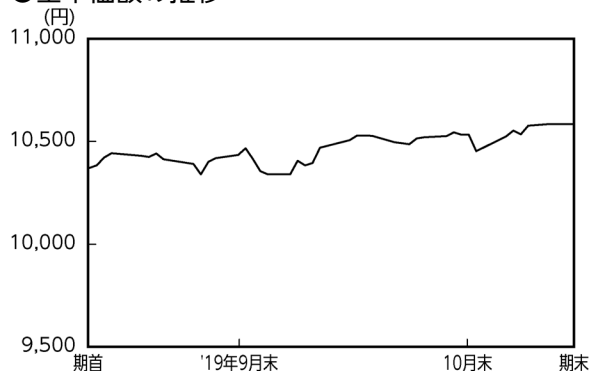
項 目	第16期末
	2019年11月15日
純資産総額	159,748,595円
受益権総口数	164,521,972口
1万口当たり償還価額	9,709円86銭

※当作成期間（第16期）中における解約元本額は2,941,287円です。

組入ファンドの概要

パイナブリッジ金融ハイブリッド証券マザーファンドの組入資産の内容（2019年11月14日現在）

●基準価額の推移



●1万口当たりの費用明細

項 目	
売買委託手数料	1円
(ハイブリッド証券)	(1)
有価証券取引税	0
(ハイブリッド証券)	(0)
その他費用	2
(保管費用)	(2)
合 計	3円

※基準価額の推移、組入上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分、1万口当たりの費用明細は、組入マザーファンドの直近の決算日現在のものです。なお、費用項目については4～5ページの注記をご参照ください。

※運用経過については、運用報告書（全体版）をご参照ください。

償還日現在における有価証券等の組入れはありません。